

古典的 Case17

3歳の少年が、アデノイドの治療のために私のオフィスに連れて来られた。

父方に結核によって数人が亡くなっている病歴があった。

長くて熱心な質問の後、母親は少年の精神的な状態を隠し続けていた。
彼女は彼の精神的な症状を明らかにするのを恥ずかしく思っているように見えた。

私は Rx を彼の状態に試してみようと思った。

というのも彼にはそのような疾患の病歴があったし、そのような病歴の後に続くアデノイドをこのレメディーが治癒したのを何度も見ていたから。

そして、苦闘の末に力づくでレメディーの粉を子供の舌の上に置いた。彼は舌を出すか、または口を開くのを拒否した。母親は、口を開けるように彼を説得するのを試みた。すると少年が自分自身を表す時が来た。

彼は暴力的に怒っていて、目はうつろになり、まるで痙攣しているかのように見えて、小丸薬を撒き散らそうとし、彼の母親の方を向いて、「殺してやる、家に帰ったら殺してやる。」と言った。

彼は口から泡を吹いていた。そして、母親は子供の気質と精神的な症状を話すように説得された。

彼女は、彼らが彼を抑制したり、または彼がしたがらないことをするように彼を説得することは不可能だと言った。

彼は、激怒の発作を破裂させ、彼の父親や母親を殺すと脅して、彼を命令に従わせようとするといつも、口から泡を吹く。

この子が私のオフィスにいる間に、母親は彼の口を開けさせ、RX 10m を舌の上に置いた。

4週間後に、10M.をもう1粒与え、そして、後に 50M.を与えた。

1カ月以内に、この子は変化し始めて、完全に優しく従順な子どもになった。

アデノイドは3カ月で完全に消えた。

この子は現在10歳で、最も将来有望な少年である。

他のレメディーは全く必要ではなかった。